

郵送調査と並行した調査員訪問の実施に関する報告

一般社団法人 新情報センター

企画部 高橋 祐二

1. はじめに

国立精神・神経医療研究センターでは、一般住民における飲酒・喫煙・医薬品・違法薬物の使用実態を把握するとともに、その経年変化を調べることを目的に、「薬物使用に関する全国住民調査」を1995年より隔年で実施している。

令和3（2021）年度調査では、調査開始時（9月末）には国内新型コロナウイルス感染者が170万人を超える状況であったため、従来の訪問留置回収法から、回収を調査員回収、郵送返送、ウェブ回答のミックスモードを併用する調査法に変更して実施した。令和5（2023）年度調査では、5月に新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行したが、まだコロナの影響が色濃く残り個人の意識の変化も想定されたため、調査法の再検討を行い実施し、結果、10ポイント以上の回収率向上となった。

本稿では、当社が請け負った令和3年度調査と令和5年度調査¹について、調査の概要・調査の流れ・回収結果等を報告する。

2. 調査の概要

令和3年度と令和5年度の調査概要は次のとおりである。

	令和3年度	令和5年度
母集団	全国の15歳から64歳の男女個人	同左
対象数	7,000人	5,000人※1
地点数	250	250
抽出法	層化二段無作為抽出	同左
期間	R3/9/30(木)～ 10/24(日)	R5/10/16(月)～ 11/19(日)
方法	訪問留置法(郵送返送、ウェブ回答併用)、追加郵送調査あり	郵送法(ウェブ回答併用)、並行して訪問依頼期間あり
謝品	ボールペン (配付時に手渡し)	ボールペン (郵送時に同封)
回収数 (率)※2	3,605(51.5%)	3,112(62.2%)

※1 予算の都合による変動

※2 重複回答、性別・年齢不明を除く

調査対象の選定方法は、いずれの年度も同一である。母集団は、全国の15歳から64歳の男女個人であり、層化二段無作為抽出によって調査対象を選定した。全国を地域ブロック・都市規模で層化し、各層の人口に比例して調査地点を抽出後、調査地点において、住民基本台帳から等間隔で個人を抽出した。調査対象は、令和3年度7,000人、令和5年度5,000人である。

3. 調査の流れ

令和3年度と令和5年度の調査の流れは、それぞれ、以下のとおりである。

(1) 令和3年度調査

日付(曜日)	日程
9/22(水)	事前依頼状発送(ハガキではなく、封書)
9/30(木)	調査員による訪問依頼開始
10/24(日)	訪問期間終了
10/28(木)	督促はがき発送(1,251人対象)
11/4(木)	追加郵送調査(999人対象)
11/14(日)	追加郵送調査回答締め切り
11/26(金)	郵送返送受付締め切り

令和3年度は、調査員による訪問依頼後の回答方法として、調査員による訪問回収、郵送返送、ウェブ回答を対象者が選択する形で併用した。

調査員調査終了後、回収率を向上させるべく、督促はがきの送付及び追加郵送調査を実施した。督促はがきの送付対象は、調査員による調査書類配付が完了し、郵送またはウェブ回答を約束していたが、回答が確認できなかった対象者(1,251人)に送付した。追加郵送調査は、調査員による訪問調査期間中に一時不在で調査書類の配付ができなかった対象者(999人)に再度調査書類一式を郵送した。

(2) 令和5年度調査

日付(曜日)	日程
10/16(月)	調査票発送(事前依頼状の送付なし)
10/30(月)	督促はがき発送(3,423人対象)
11/5(日)	訪問対象除外締め切り
11/9(木)	調査員による訪問依頼開始(2,497人 ² 対象)
11/19(日)	回答締め切り日・訪問終了
12/22(金)	受付締め切り

令和5年度は、郵送配付・郵送返送(ウェブ回答併用)を主軸とし、並行して協力可否が不明の対象者に対して、後日、調査員が訪問依頼する期間を設けた。

対象者には、10/16に調査書類を発送した。調査員による訪問依頼については、依頼状・ウェブ回答案内・送付用封筒の3点に明記した。(後述する督促はがきにも同様の内容を記載した。図1参照。)また、調査書類に記載した回答締め切り日は11/19とした。

調査書類の発送から14日後の10/30に、協力可否が不明の対象者へ督促はがきを発送した。対象者に提示した締め切りは当初と同日(11/19)であり、受付期間を延長する旨は記載しなかった。また、督促はがきにも調査員の訪問について記載した。

調査員による訪問依頼は、2,497人を対象に11/9から11/19の10日間で実施した。面会またはインターホン越しに接触した対象者には、郵送返送またはウェブ回答を依頼した。また、回答済調査票を回収できる場合は回収を行った。なお、調査書類を紛失した対象者へ配付する予備を調査員に持参させた。

図 1 督促はがき裏面

調査名
 - 調査ご協力のお願い -

先日、「調査タイトル」アンケート用紙を郵送させていただきました。

調査の主旨

ぜひ、多くの方からご協力を賜りたく、あなた様からのご回答をお待ちしております。

令和5年11月9日(木)から順次、調査へのご協力依頼のため、調査員がご自宅を訪問させていただきます

※**令和5年11月5日(日)までにご回答が確認できた方**は、調査員の訪問はございません。

◆郵送返送される方 返送用封筒に入れ、ポストへご投函ください(切手不要)。	◆インターネット回答される方 「インターネット回答のご案内」をご参照ください。
---	---

◆返送用封筒、インターネット回答のご案内は、先日お送りしたアンケート用紙に同封されています。

◆本状や調査員の訪問と入れ違いにご回答いただきました場合には、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

4. 訪問依頼期間中の調査員への支援

調査員の訪問依頼期間中にも、対象者から郵送返送やウェブ回答が発生するため、回答が完了した対象者や拒否の意向を示した対象者を訪問しないよう配慮した。

調査地点ごとの回答済み・拒否状況について、調査員専用ウェブページを用いて調査員と共有した。訪問依頼期間中は、一定時刻(午前10時とした)に、訪問する必要のない対象者情報(対象番号)を追加更新した。

なお、上記のような行き違い訪問について、可能な限り発生防止に努めたものの、調査票の返送のタイムラグや土曜日・日曜日・祝日の郵便配達の実施されないこともあり、行き違い訪問は216件発生した。

5. 回収結果

(1) 回収結果(年代別・回収モード別)

令和3年度と令和5年度の回収結果(年代別・回収モード別)を表1に示した。なお、回収結果表の作成にあたって、重複回答、性別・年齢不明を除いている。

回収全体でみると、令和5年度は、全ての年代で令和3年度より回収率が上がっており、特に10代の回収率は令和3年度で48.8%、令和5年度で66.3%と17.5ポイント向上した。

回収モード別でみると、令和5年度は、郵送返送・ウェブ回答を先行する調査モードとした要因もあり、いずれにおいても全ての年代で令和3年度より回収率が増加した。特に、郵送返送では、10代と60代の回収率の増加が11ポイントを超えた。

また、ウェブ回答では10代の回収率が9.5ポイント増加した。

いずれの年度でも、郵送返送が回答方法として最も選択されている。令和3年度は郵送返送23.2%・ウェブ回答21.7%・訪問回収6.6%であり、令和5年度は郵送返送32.4%・ウェブ回答27.3%・訪問回収2.6%となっている。

訪問回収率は、すべての年代で令和3年度の方が高い。これは、令和5年度は調査員の訪問を副次的モードとしたことや、³調査の流れに前述したとおり、依頼状・ウェブ回答案内・送付用封筒・督促はがきに調査員の訪問について記載し告知したことで、先行する郵送返送やウェブ回答を選択した対象者が増えたことが考えられる。

表 1 回収結果（年代別・回収モード別）

令和 3 年度

年代	標本数	全体		郵送返送		ウェブ回答		訪問回収	
		回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
10 代	502	245	48.8%	97	19.3%	113	22.5%	34	6.8%
20 代	1,084	438	40.4%	131	12.1%	254	23.4%	53	4.9%
30 代	1,281	592	46.2%	219	17.1%	313	24.4%	61	4.8%
40 代	1,748	914	52.3%	374	21.4%	416	23.8%	125	7.2%
50 代	1,619	931	57.5%	484	29.9%	330	20.4%	117	7.2%
60 代	766	485	63.3%	316	41.3%	94	12.3%	74	9.7%
計	7,000	3,605	51.5%	1,621	23.2%	1,520	21.7%	464	6.6%

令和 5 年度

年代	標本数	全体		郵送返送		ウェブ回答		訪問回収	
		回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
10 代	306	203	66.3%	94	30.7%	98	32.0%	11	3.6%
20 代	782	389	49.7%	154	19.7%	217	27.7%	18	2.3%
30 代	955	545	57.1%	228	23.9%	291	30.5%	26	2.7%
40 代	1,117	693	62.0%	332	29.7%	343	30.7%	18	1.6%
50 代	1,294	877	67.8%	521	40.3%	322	24.9%	34	2.6%
60 代	546	405	74.2%	289	52.9%	93	17.0%	23	4.2%
計	5,000	3,112	62.2%	1,618	32.4%	1,364	27.3%	130	2.6%

（２）回収結果（性別・年代別）

性別・年代別の回収結果を、全回収モード・郵送返送・ウェブ回答・訪問回収ごとに、以下に示す。（表 2～表 5）

① 回収結果（全回収モード、性別・年代別）

令和 5 年度は、男性・女性どちらも、すべての年代で令和 3 年度より 9 ポイント以上回収率が増加している。特に男性・10 代では令和 3 年度で 47.6%、令和 5 年度で 66.7%と 19.1 ポイント増加した。また、女

性・10 代では令和 3 年度で 50.0%、令和 5 年度で 66.0%と 16.0 ポイント増加した。

年度ごとに性別・年代別の回収率の上位をみると、令和 3 年度では、女性・60 代（66.4%）が最も高く、次いで、女性・50 代（63.8%）、男性・60 代（60.0%）と続いた。

令和 5 年度では、女性・60 代（76.6%）が最も高く、男性・60 代（71.8%）、女性・50 代（70.2%）と続いた。いずれの年度も、回収率上位を構成する性別・年代は同様であった。（表 2）

表 2 回収結果（全回収モード、性別・年代別）

令和 3 年度 全回収モード

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10 代	502	245	48.8%	10 代	246	117	47.6%	10 代	256	128	50.0%
20 代	1,084	438	40.4%	20 代	543	199	36.6%	20 代	541	239	44.2%
30 代	1,281	592	46.2%	30 代	681	290	42.6%	30 代	600	302	50.3%
40 代	1,748	914	52.3%	40 代	935	461	49.3%	40 代	813	453	55.7%
50 代	1,619	931	57.5%	50 代	839	433	51.6%	50 代	780	498	63.8%
60 代	766	485	63.3%	60 代	370	222	60.0%	60 代	396	263	66.4%
計	7,000	3,605	51.5%	計	3,614	1,722	47.6%	計	3,386	1,883	55.6%

令和 5 年度 全回収モード

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10 代	306	203	66.3%	10 代	156	104	66.7%	10 代	150	99	66.0%
20 代	782	389	49.7%	20 代	409	200	48.9%	20 代	373	189	50.7%
30 代	955	545	57.1%	30 代	497	264	53.1%	30 代	458	281	61.4%
40 代	1,117	693	62.0%	40 代	580	334	57.6%	40 代	537	359	66.9%
50 代	1,294	877	67.8%	50 代	666	436	65.5%	50 代	628	441	70.2%
60 代	546	405	74.2%	60 代	277	199	71.8%	60 代	269	206	76.6%
計	5,000	3,112	62.2%	計	2,585	1,537	59.5%	計	2,415	1,575	65.2%

② 回収結果（郵送返送、性別・年代別）

令和 5 年度は、全ての性別・年代で令和 3 年度より回収率が増加しており、特に男性・60 代では令和 3 年度で 32.4%、令和 5 年度で 45.5%と 13.1 ポイント増加した。また、女性・10 代では令和 3 年度で 20.3%、令和 5 年度で 32.7%と 12.4 ポイント増加した。

年度ごとに性別・年代別の回収率の上位をみると、令和 3 年度は、女性・60 代(49.5%)が最も高く、女性・50 代 (37.8%)、男性・60 代 (32.4%) と続いた。令和 5 年度は、

女性・60 代 (60.6%) が最も高く、女性・50 代 (48.4%)、男性・60 代 (45.5%) と続いた。郵送返送でも、いずれの年度も、回収率上位を構成する性別・年代は同様であった。(表 3)

表3 回収結果（郵送返送、性別・年代別）

令和3年度 郵送返送

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10代	502	97	19.3%	10代	246	45	18.3%	10代	256	52	20.3%
20代	1,084	131	12.1%	20代	543	53	9.8%	20代	541	78	14.4%
30代	1,281	219	17.1%	30代	681	93	13.7%	30代	600	126	21.0%
40代	1,748	374	21.4%	40代	935	170	18.2%	40代	813	204	25.1%
50代	1,619	484	29.9%	50代	839	189	22.5%	50代	780	295	37.8%
60代	766	316	41.3%	60代	370	120	32.4%	60代	396	196	49.5%
計	7,000	1,621	23.2%	計	3,614	670	18.5%	計	3,386	951	28.1%

令和5年度 郵送返送

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10代	306	94	30.7%	10代	156	45	28.8%	10代	150	49	32.7%
20代	782	154	19.7%	20代	409	83	20.3%	20代	373	71	19.0%
30代	955	228	23.9%	30代	497	92	18.5%	30代	458	136	29.7%
40代	1,117	332	29.7%	40代	580	136	23.4%	40代	537	196	36.5%
50代	1,294	521	40.3%	50代	666	217	32.6%	50代	628	304	48.4%
60代	546	289	52.9%	60代	277	126	45.5%	60代	269	163	60.6%
計	5,000	1,618	32.4%	計	2,585	699	27.0%	計	2,415	919	38.1%

③ 回収結果（ウェブ回答、性別・年代別）

令和5年度は、全ての性別・年代で令和3年度より回収率が増加しており、特に男性・10代では令和3年度で20.3%、令和5年度で33.3%と13.0ポイント増加した。また、男性・40代では令和3年度で24.0%、令和5年度で32.8%と8.8ポイント増加した。

年度ごとに性別・年代別の回収率の上位をみると、令和3年度は、女性・30代(25.3%)が最も高く、女性・20代(24.8%)、女性・10代(24.6%)と続いた。令和5年度は、

男性・10代(33.3%)が最も高く、男性・40代(32.8%)、男性・30代(31.6%)と続いた。男性の回収率向上にウェブ回答モードが大きく貢献したことがわかる。(表4)

表 4 回収結果（ウェブ回答、性別・年代別）

令和 3 年度 ウェブ回答

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10 代	502	113	22.5%	10 代	246	50	20.3%	10 代	256	63	24.6%
20 代	1,084	254	23.4%	20 代	543	120	22.1%	20 代	541	134	24.8%
30 代	1,281	313	24.4%	30 代	681	161	23.6%	30 代	600	152	25.3%
40 代	1,748	416	23.8%	40 代	935	224	24.0%	40 代	813	192	23.6%
50 代	1,619	330	20.4%	50 代	839	190	22.6%	50 代	780	140	17.9%
60 代	766	94	12.3%	60 代	370	61	16.5%	60 代	396	33	8.3%
計	7,000	1,520	21.7%	計	3,614	806	22.3%	計	3,386	714	21.1%

令和 5 年度 ウェブ回答

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10 代	306	98	32.0%	10 代	156	52	33.3%	10 代	150	46	30.7%
20 代	782	217	27.7%	20 代	409	105	25.7%	20 代	373	112	30.0%
30 代	955	291	30.5%	30 代	497	157	31.6%	30 代	458	134	29.3%
40 代	1,117	343	30.7%	40 代	580	190	32.8%	40 代	537	153	28.5%
50 代	1,294	322	24.9%	50 代	666	195	29.3%	50 代	628	127	20.2%
60 代	546	93	17.0%	60 代	277	59	21.3%	60 代	269	34	12.6%
計	5,000	1,364	27.3%	計	2,585	758	29.3%	計	2,415	606	25.1%

④ 回収結果（訪問回収、性別・年代別）

令和 5 年度は、全ての性別・年代で令和 3 年度より回収率が下がっており、特に女性・50 代では令和 3 年度で 8.3%、令和 5 年度で 1.6%と 6.5 ポイント減少した。また、男性・60 代では令和 3 年度で 11.1%、令和 5 年度で 5.1%と 6.0 ポイント減少した。

年度ごとに性別・年代別に回収率をみると、令和 3 年度は、男性・60 代（11.1%）が最も高く、男性・10 代（8.9%）、女性・60 代（8.3%）と続いた。令和 5 年度は、男

性・60 代（5.1%）が最も高く、男性・10 代（4.5%）、男性・50 代（3.6%）と続いた。訪問回収に比較的抵抗感が少なかった高齢者層も、訪問回収が副次的モードとなったことで、訪問回収が減少したと考えられる。（表 5）

表 5 回収結果（訪問回収、性別・年代別）

令和 3 年度 訪問回収

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10 代	502	34	6.8%	10 代	246	22	8.9%	10 代	256	12	4.7%
20 代	1,084	53	4.9%	20 代	543	26	4.8%	20 代	541	27	5.0%
30 代	1,281	61	4.8%	30 代	681	36	5.3%	30 代	600	25	4.2%
40 代	1,748	125	7.2%	40 代	935	67	7.2%	40 代	813	58	7.1%
50 代	1,619	117	7.2%	50 代	839	54	6.4%	50 代	780	63	8.1%
60 代	766	74	9.7%	60 代	370	41	11.1%	60 代	396	33	8.3%
計	7,000	464	6.6%	計	3,614	246	6.8%	計	3,386	218	6.4%

令和 5 年度 訪問回収

男女計				男性				女性			
年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率	年代	標本数	回収数	回収率
10 代	306	11	3.6%	10 代	156	7	4.5%	10 代	150	4	2.7%
20 代	782	18	2.3%	20 代	409	12	2.9%	20 代	373	6	1.6%
30 代	955	26	2.7%	30 代	497	15	3.0%	30 代	458	11	2.4%
40 代	1,117	18	1.6%	40 代	580	8	1.4%	40 代	537	10	1.9%
50 代	1,294	34	2.6%	50 代	666	24	3.6%	50 代	628	10	1.6%
60 代	546	23	4.2%	60 代	277	14	5.1%	60 代	269	9	3.3%
計	5,000	130	2.6%	計	2,585	80	3.1%	計	2,415	50	2.1%

6. 回収数の推移

令和 5 年度の回収数の推移を図 2 に示した。調査票発送（10/16）の 2 日後からウェブによる回答が始まり、7 日後から郵送返送が始まった。

督促はがきを発送するまで（10/30）に回収率は 30.8% となった。その後、訪問依頼が始まるまで（11/9）に、回収率は 49.3% と、5 割程度まで回収が進んだ。督促はがきを発送してから調査員による訪問依頼が始まるまでの 10 日間で回収率が 20 ポイント程度上がったこととなる。この 10 日

間では、ウェブ回答は 421 件（全体の 8.4%）確認された。また、郵送返送は 502 件（全体の 10.0%）確認された。配達期間を考慮すると、督促はがき発送後 3 日目（11/2）からウェブ回答者の反応がみてとれ、7 日目（11/6）から郵送回答者の反応がみてとれる。

訪問依頼期間中にも郵送返送・ウェブ回答が進み、訪問終了（11/19）の回収率は 56.1% となった。その後も郵送返送やオンライン回答が認められたため、委託元と協議しながら、12/22 を受付締め切り日とし

た。結果、受付締め切り日には回収率62.2%となった（訪問依頼期間中に訪問回収した130件を含める）。

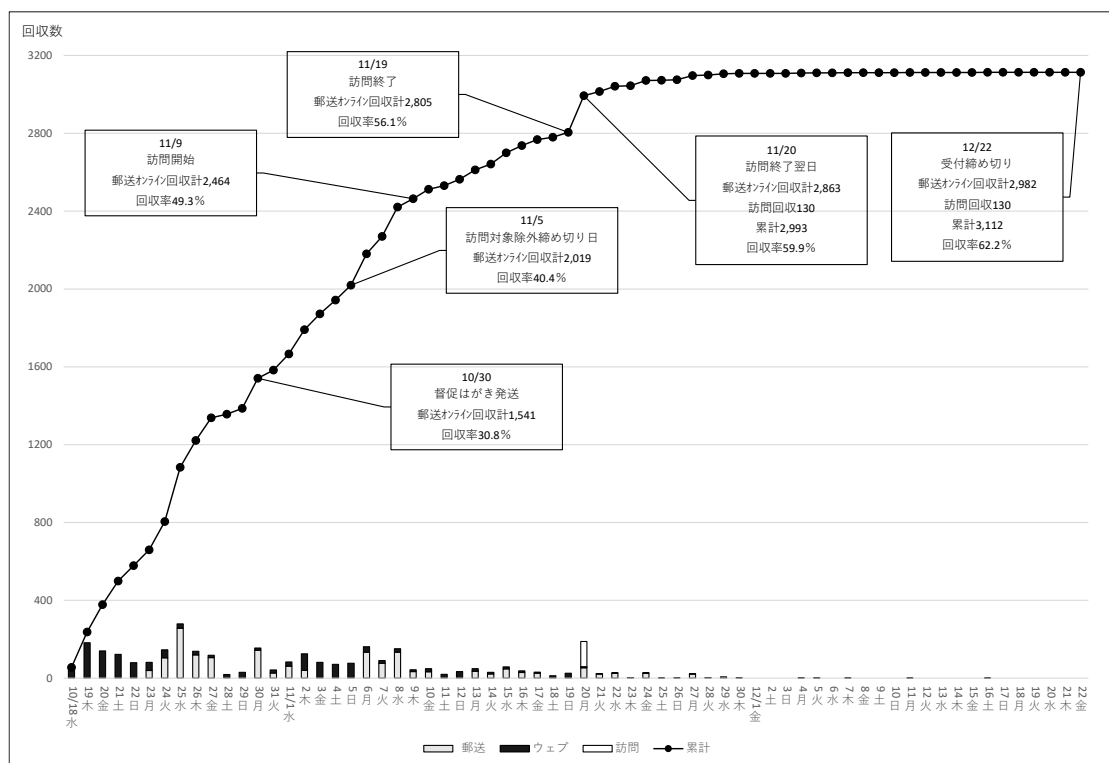
7. 調査員による訪問依頼について

令和5年度は、11/9から11/19までの10日間を、調査員による訪問依頼期間として設けた。この期間に、1,200人に面会またはインターホン越しに接触した。1,200人に対する訪問結果は、訪問回収130人、郵送返送またはウェブ回答を約束696人、調査拒否374人であった。郵送返送またはウェブ回答を約束した対象者696人のうち、33.9%にあたる236人から回答を得た。

一方、時間や日を変えて複数回の訪問をしたものの、接触できなかった対象者には、訪問した事実と郵送またはウェブ回答を依頼する旨を記載した用紙をポスト投函した。この用紙をポスト投函した対象者は541人であり、7.2%にあたる39人から回答を得た。

上記のとおり回答を得た訪問回収130人、郵送返送またはウェブ回答を約束した対象者236人、用紙をポスト投函した対象者39人の計405人について、調査員による訪問を受けたことで回答した対象者とみなすことができる。これは、令和5年度の標本数5,000人に対して8.1%である。

図2 令和5年度 回収数の推移



8. まとめ

令和5年度は、「郵送法(ウェブ回答併用)、並行して訪問依頼期間あり」という調査方法で実施し、令和3年度の「訪問留置法(郵送返送・ウェブ回答併用)、追加郵送調査あり」という調査方法と異なる方法で調査を実施した。結果、10ポイント以上の回収率向上となった。すべての年代で回収率が増加しており、特に、10代では男性が19ポイント増加し、女性が16ポイント増加した。回収の推移をみると、訪問依頼が始まるまでに5割近くまで回収が進み、特に、督促はがきを発送してから調査員による訪問依頼が始まるまでの10日間で、回収率が20ポイント程度上がった。これは、単に、「郵送法(ウェブ回答併用)の実施で令和3年度と同程度の回収率が確保できた」と理解すべきではないと考える。調査書類に記載された、「調査員が、後日訪問する」というメッセージが対象者の心理に働きかけ、郵送回答やウェブ回答を促したと推察される。調査員による訪問依頼に起因する回答として、標本数5,000人に対して8.1%(405人)から回答を得た。最終的に、回答受付締め切りとした日までに、62.2%の回収率となった。

本稿で報告した令和5年度調査の調査方法は、令和3年度調査と比較して、回収率の全体的なボトムアップのほか、接触が難しいとされる若年層の回収率向上がみられた。今後、同手法での調査実績や回収結果を積み上げ、検証を続ける必要がある。

【謝辞】

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室長 嶋根 卓也先生には、令和3年度及び令和5年度「薬物使用に関する全国住民

調査」の実施においてご指導を賜り、また、本稿の執筆についてもご了承を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(注) -----

- ¹ 調査結果について、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部のホームページで研究報告書が公開されている。
令和3年度調査：https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NGPS_2021.pdf
令和5年度調査：https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NGPS_2023.pdf
- ² 11/9の訪問開始時点で、調査員の訪問を受ける可能性があった対象者は、2,497人であった(標本数5,000に対して49.9%)。回答が確認できた対象者及び調査拒否を除外した。
- ³ 行き違い訪問の件数は、①回答日より後日に訪問した件数、②訪問日と同日または翌日に回収した郵送返送、①②の件数を合計した。また、訪問日と同日のオンライン回答は入れ違いに含めていない。

